

なんだ・かんだ

◆ つながらない権利 ◆

先日労働基準法改正のセミナーで「つながらない権利」という言葉を聞いて、時間外での業務連絡のことだとは思いましたが、ついつい「俺達の頃は・・・」と少し違和感を覚えてしまいました。この勤務時間外に仕事の連絡を拒否する権利が法制化されるという話です。

法律では休日の電話対応は会社の「指揮命令下」にあるとみなされ、時間外・休日労働として賃金が発生しますが、現実的には突発的な状況への対応や、お客様からの要求等によって勤務時間外に賃金が払われずに対応をせざるを得ないなど、プライベートと業務との切り分けが曖昧になり、仕事が私生活に介入してしまうことが良くあります。

セミナーでは、休日・深夜の業務メール・チャット、緊急性のない業務連絡、会議・打ち合わせへの参加強要などが挙げられていました。当社ではお客様からの問合せで緊急性があり、どうしても担当者しか分からない内容である場合や、担当者が事前を知っておいた方が良い情報などに限って連絡を入れることがあります。また、会社を通さずに時間外にお客様から直接担当者へ連絡を入れている事も認識しています。

法制化の方向性としては、勤務時間外の業務連絡に応じなくても不利益を受けない「つながらない権利」に関するガイドラインが策定される予定だそうです。どこまで許容し、拒否することができるのかを社内ルールの検討が必要だとしています。

日経新聞に掲載された勤務時間外の業務連絡についての実態調査では、20～50代の正社員の6割超が時間外の連絡に拒否感を示しているという結果が出ています。上司や部下がいる正社員の内、「社内の人から勤務時間外に業務連絡がくることがある」と回答した人は70%、逆に社内の人へ時間外に連絡をすることがある人も70%いました。

勤務時間外の連絡を拒否したいか尋ねたところ、「とてもそう思う」「まあそう思う」が計64%に達し、年代別では20代(68%)、30代(64%)、40代(65%)、50代(53%)と年齢により拒否感に差が見られました。

勤務時間外の連絡について率直な気持ちは、「通知を気にして心身ともに十分に休めていないと感じる」などの拒否感を示すコメントがある一方で、「ある程度仕方ない」「逆に自分が連絡しなければいけない立場の時もあるのでお互いさま」という許容の声もありました。

勤務時間外や休日の業務連絡は原則禁止。緊急時の定義(災害、重大なクレームなど)を明文化し、その上で連絡手段も決めて、それ以外は連絡しないルールを作り徹底することが良いそうです。その他、

●メールの送信予約機能を利用し、時間外に連絡が来ない体制を作る。●時間外の連絡対応は「労働時間」とするルールを明確にする。●勤務時間インターバル制度の導入を明記する。●業務の属人化を避け、緊急時に担当者以外でも対応できる業務共有体制を整備する。●管理職・従業員に対し、「時間外に連絡しない・させない」意識改革の研修を実施する。●時間外の連絡に対応しなかったことを理由に不利益な評価を行わないこと。等をガイドラインに明記する様にすべきとのこと。

時代は変わっていきます。まずは時代の流れに自分が順応することだと痛感しました。



■ 戦争の影響 ■

アメリカとイスラエルが、イランへの大規模な軍事攻撃を開始して3週間が経ちました。イランはホルムズ海峡を閉鎖し、世界中で原油やナフサの供給が滞り価格が高騰しています。

政府は石油の備蓄放出等の対策を発表していますが、石油よりもナフサ等石油製品の原料は備蓄も少なく、既に国内で石油製品の供給制限が掛かっています。当社では塗料・溶剤が影響を受け、注文全数の供給を得られない状況になっています。今後紛争が長引けば、あらゆる産業で材料供給が途絶え製品製造が出来ない状況に陥る可能性があります。

不可抗力の事由による出荷制限

先週岐阜、高知、山梨で桜の開花発表があったのを皮切りに、一週間で計十地点に増え、週末には横浜、前橋の各気象台から開花発表があり、平年よりも早く桜前線が進んでいます。この地域ではこの週末辺りが桜の見頃となりそうです。しかし、アメリカのイラン侵攻という予想外の出来事が起こり、花見などと言ったいい状況になってきました。トランプ関税が違法という判決を受け、また新たな関税の発動がされ世界経済が安定しない中で、原油供給が滞るという新たな問題がトランプ大統領によりもたらされました。フォース・マジュール(仏語で「不可抗力」。天災、戦争、疫病、暴動など、人為的に制御不可能な事態の発生で契約義務を果たせなくなった場合、責任を免除される条項・状態)に因り出荷制限をします。という通達で化学品メーカー・数社から届いています。先月、「来期の状況が見通せません。」と書きましたが、更に霧が深くなってきました。

代表取締役 服部 徹一郎

社員ブログ

● 我が家のコレクターたち ● 営業部2課 川口真太郎

スポーツ観戦シリーズの予定でしたが、WBCが外れてしまったため今回は持ち越して「趣味」をテーマに。

私は少し収集癖があります。小学生の頃はポケモン(赤・青・黄・金・銀)を揃えて遊んでいました。また遊戯王カードではブルーアイズを何枚も集めていた記憶があります。

大人になった今でもその癖は変わらず、色違いのスニーカーを集めたり、LEVI'S 501, 505, 517, 550といったモデルを、なぜか淡青ばかり選んでしまいます。501だけで何本あるのか。

ゴルフクラブも気が付けば全てPingで揃えていました。どうやら私は揃えることに喜びを感じるタイプのようなのです。

挙げ始めるとキリがありません。そんな私ですが、子供たちを見てみると……。しっかりと遺伝していました。

長女はガチャガチャを集めてケースに並べてコレクション。何ケースあるのか分かりません。1個300円……計算はしたくありません。

次女は単行本が好きで本棚は漫画でびっしり。三女はシール帳にハマってシールだけを探しに出掛ける日もあります。

ただ、何かに熱中できるものがあると、人生は少し充実している気がします。そう考えると、これはこれで良いことなのかもしれません。

ちなみに最近気になっているのはヴィンテージ品ですが、密かに自分の生まれ年(1990年3月)の501も探しています。

皆さんは、何かハマっていることはありますか？



本レターのご提供に付きまして、ご不要・ご迷惑という方に付きましては、その旨ご一報頂きたいと思っております。次回からの発送を中止させていただきます。

株式会社チキリ

静岡県駿東郡清水町卸団地73

Tel 055-971-9610 Fax 055-973-1534

E-mail gen@chikiri.com URL http://www.chikiri.com/